

やすらぎだより

6
月
号

陽気で緑にあふれた生活 それがやすらぎ園です

施設長コラムバックナンバーホームページ掲載しています。

コラム第180号

「どっちゃんでも良い」

施設長 植田 誠



この数か月の流行言葉に悩まされている。‘どっちゃんでも良い’と言え
ばそれまでだが、言葉の使い分けは大切だ。

例え、息子ほど年の離れたSNS世代のスタッフから‘何をいまさら’
と言わんばかりの冷ややかな視線を浴びせられても、例え、僅かな知識を
ひけらかす見栄っ張りの‘アナログ人間’であったとしても、気になるこ
とは気になるものである。

施設のご面会が全面解禁とは至らない昨今、当たり前のようにリモート
面会、否、オンライン面会が一般化となる中、当法人もようやく始まりだ
した。又、外部との会議が自粛される中、オンライン会議、否、Web会
議の環境が整い参加するようにもなった。

先日、他事業所のケアマネさんから思わぬ声がかかった。

「最近、施設長さんはオンライン飲み会にハマっておられる様ですね・・・」
静粛な事務所内に響き渡った予想だにしない一言に、冷静さを取り繕いな
がらも

「いやいや、2, 3度やってみただけどハマってはいませんヨ」

明らかに動揺している私は、皆の前で慌てて否定しつつも‘オンライン飲
み会、リモート飲み会、どっち?’と、脳裏に浮かぶ微かな疑問は、次に
浮かんだ‘そんな噂が流れているのか’という重大な現実によって、その
場はかき消されていった。

リモート、オンライン、Web、それぞれの言葉には明確な意味と根拠が
あるのであろう。今さらこの場で、ネットで引っ張り出した定義をつらつ
らと記しても面白くない。それより、的確な使い分けがなされているのか。
否、使い分ける必要があるのかどうか気がなる。

浅薄な私では理解ができず、つまらない疑問は解消せず居続ける。

「結局、どれを使っても間違いではない」という巷の声は、猪突猛進、猪
年の私には通用しない。ましてや‘どっちゃんでも良い’では、どうも合点
がいかない。



社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- | | |
|-------------------------|----------------|
| ○特別養護老人ホーム やすらぎ園 | ○ケアハウス やすらぎ |
| ○在宅サービス事業所
居宅介護支援事業所 | ○介護予防関連事業 |
| 訪問介護事業 | ○グループホーム むつみあい |
| 訪問入浴介護事業 | ○住まいの生活支援事業 |
| ○短期入所生活介護事業 | ○グループホームなごみ筒井 |
| ○在宅介護支援センター | |
| ○天理市東部地域包括支援センター | |